

# 飛躍する国際港湾「八代港」 観光ゲートと物流拠点へ

熊本県八代市の八代港は県内最大の国際貿易港です。TSMC（台湾積体回路製造）の熊本進出が追い風となり、九州の中央に位置する優位性を生かして海上・陸上の一大物流拠点としての存在感を高めています。国際クルーズ船の寄港も本格再開され、観光ゲートとしてもさらなる飛躍が期待されます。現状と将来について、木村敬・熊本県知事に伺いました。

## 新型コロナ5類移行で 国際クルーズ好調

—2020年国際クルーズ拠点「くまモンポート八代」供用開始、21年台湾への国際コンテナ定期航路就航、22年CF5倉庫供用開始など着々と発展を続けている印象です。現状について教えてください。

くまモンポート八代は国と熊本県、ロイヤル・カリビアン社の官民連携により整備され、世界最大級のクルーズ船の入港が可能な専用岸壁、くまモンが84体配置された斬新なデザインの港です。完成は新型コロナ感染症

患者が急増する20年3月でしたので、厳しい状況が続きました。しかし、昨年の5類移行から国際クルーズ船の寄港が再開され、「クイーン・エリザベス」や国内船を含め15回の寄港がありました。今年には既に20回を超え、12月までに計32回の寄港が予定されており、非常に良い流れができています。

また、小型貨物の積み替えと冷蔵ができるCF5倉庫の供用開始は、農水産物の輸出入促進だけでなくクルーズ船への食材提供などビジネスが広がっています。これも良い傾向だと思います。

## JASM第1工場 稼働に期待

—22年は25372TEU、23年は23159TEUのコンテナ取扱量と伺いました。今後の展望について教えてください。

2023年のコンテナ取扱量の減少は、主力だった原木が中国経済の減退による影響や、コンテナ船から、よりコストの安いバルク船への切り替えによるものです。

台湾航路に期待されるのはやはり世界的半導体大手TSMC。半導体関連の原材料輸入は既に始まっています。年末にはJAS



S M第1工場が本格稼働し、第2工場の着工も控えていますので、今後コンテナは台湾を中心に確実に増加していくと考えています。半導体は我が国の経済安全保障の主力ですので、台湾との貿易航路を持つ八代港の役割と存在感が高まるのが期待されます。

半導体製造で大切なのはきれいな水と電気が確保されていますが、九州が選ばれたのは電力の安定供給も要因の一つです。九州では鹿児島県の川内原子力発電所が稼働していることに加えて、太陽光発電が盛んです。さらに風力や地熱などノンカーボン（脱炭素）のエネルギー事業が非常に多いのです。

また、部品や原材料を供給するサプライヤーの存在も大きいポイントです。九州には熊本を中心に半導体関連産業が集積しています。半導体はTSMC 1社では作れませんので、材料を入れたり、製品の検査をしたりする企業群があるのが強みです。

## 観光振興と 環境・防災学習を連携

—今後の課題として考えている事、その解決のための取り組みをお聞かせください。

海外航路は台湾のほか韓国が2航路、神戸港を結ぶ国際フェリー航路のみと、まだ寄港回数が少なく、荷主の企業さんに選取肢を与えられていません。東京、神戸・福岡のような競争原理が働いていない状況です。卵が先か鶏が先かの話なのですが、TSMCという鶏は出てきています。一方、新しい物流を増やす「卵」も必要です。そのため、県と八代市で、荷主企業を対象に新規利用の場合にコンテナTEUあたり2万円、継続利用でも1万5千円の助成を行っています。

また、トラック運転手の時間外労働を規制する物流2024年問題もあり、フェリー航路という内航船を活用した輸送への助成なども予算を確保しています。ポートセミナーの開催などを行いながらPRを進めていくのと同時に、新規航路の誘致も併せて行っています。

くまモンポート八代のPR、観光への活用も課題です。クルーズ船客の行き先で多いのは熊本城と八代市内ですが、他の地域にも魅力的な観光資源がたくさんあります。例えば、くまモンポート八代にイルカウォッチング船を横付けにしたり、豪雨水害を受けた人吉・球磨や水俣は環境や防災の学習の場としても活用

## 「南九州の結節点」 八代は

—県経済への波及効果、将来ビジョンについてお聞かせください。

クルーズにしても貨物にしても八代港に入港したことの効果を県内に広く波及させていく必要があります。TSMCの工場は県北の菊陽町ですので、その効果を八代など県南に波及させたいと考えています。

九州自動車道は八代から人吉、えびのを通って宮崎・鹿児島に行けます。または、南九州西回り自動車道が完成しますと八代から鹿児島市まで短時間でつながります。八代はいわゆる南九州の結節点になってきますので、八代港がさらに重要になります。

八代では既に多くの企業が立地しています。更なる産業の集積を目指し、八代に県営工業団地の整備を進めています。また、浦島・前知事時代から進めてきた八代の物流拠点構想をさらに強く進めていくため、今年6月、県と八代市は香港系の企業「ESR」と「やしろ物流拠点構想の推進に関する覚書」を締結しました。さらに、特定利用港の指定を受けたことにより八代港の整備が一層、進むことも期待されます。

今後も熊本県の発展の核として八代港振興を積極的に進めて行きたいと思っています。



熊本県知事  
木村 敬氏



八代港



八代市長  
（八代港ポートセールス協議会 会長）  
**中村 博生氏**

八代港は県内で唯一台湾との国際コンテナ定期航路を有しており、本市では、今後更なる増加が見込まれる半導体貨物の輸出入を促進させるため、海上物流に資する様々な支援制度をご用意しております。

また、今年6月に覚書を締結した世界トップクラスの不動産アセットマネジメント会社であるESR株式会社との連携による物流拠点構想の推進や、県と一体となって進めている県営工業団地の整備に加え、新八代駅周辺の開発にも取り組んでおり、こうした様々な取組の相乗効果で八代港の価値を高め、県内全体の経済浮揚につなげていきたいと考えております。

人流面においても、昨年春から国際クルーズ船の寄港が再開し、くまモンポート八代への寄港数が増加していることから、受入環境の充実と賑わいの創出に取り組んでおります。

県下最大の貿易港を抱える自治体として、今後も県や関係団体と更なる協力体制を築きながら、八代港を核としたまちづくりを進めて参ります。



八代港港湾振興協会 会長  
**松木 喜一氏**

八代港港湾振興協会は物流事業者、荷主企業、海事関係団体等78社で構成される組織であり、八代市と連携した港湾整備要望をはじめとして、八代港の利便性向上やサービス向上のための取組を行っています。

近年、半導体産業に沸く熊本県ですが、TSMCの第1工場が年内には本格稼働し、第2工場の着工も控えているなど、県内で唯一台湾航路を有する八代港においてはまさに千載一遇のチャンスととらえており、当協会としても官民一体となり、八代港の利活用促進のための取組を進めていくことが重要だと認識しています。

また、クルーズ船についても、「くまモンポートやつしろ」が拠点となり、今後寄港数の増加が見込まれるクルーズ船の受入れや地域活性化に寄与するものと大きな期待を寄せています。

当協会としても、行政と民間との橋渡し役として八代港の振興に寄与できるよう、更なる発展を目指してまいります。

八代港の躍進と発展のため、今後も尽力いたします。

鉄筋工事一式  
**株式会社 ノーグチ**  
代表取締役 農口 隆光  
〒866-0034 熊本県八代市新港町2-2-5  
☎0965-31-3138 FAX.0965-31-3188  
http://www.no-guchi.co.jp/

何よりも安全を優先する!!  
お気軽にお電話ください!!  
**株式会社 高野クレーン工業**  
熊本県八代市港町67番地  
☎0965-32-6696

**日本製紙株式会社**  
八代工場  
八代市十条町1丁目1番  
☎0965-33-2111

産業廃棄物のことなら  
リサイクルエネルギー創造企業  
**大東商事株式会社**  
096-245-4800  
大東商事の情報はこちら

**株式会社中山建設**  
代表取締役 中山 英朗  
〒866-0833 熊本県八代市夕葉町3番地7  
☎0965-33-5047 FAX.0965-35-7588

**太陽開発株式会社**  
〒866-0032 熊本県八代市新開町3番11号  
☎0965-31-0558 FAX.0965-31-0590  
https://taiyo-develop.com

地域と共に歩む  
**八代商工会議所**  
会 頭 竹永 淳一 副会頭 福村 芳文  
副会頭 中山 英朗 専務理事 松本章  
〃 松岡 隆志 他 役員・職員一同  
熊本県八代市松江城町6番6号 ☎0965-32-6191

**八代港湾倉庫株式会社**  
代表取締役社長 原田 陽二  
本 社：熊本県八代市毘舎丸町1番3号  
☎0965-33-3145  
港営業所：熊本県八代市新港町4番5号5  
☎0965-37-1355

港湾、河川、土木工事 一式  
潜水工事、しゅんせつ工事、海難救助  
**八代港湾工業株式会社**  
YATSUSHIRO KOWAN KOGYO CO.LTD  
代表取締役 石尾 浩一  
熊本県八代市港町262番地の18 ☎0965-37-1421  
https://www.y-kowan.com/

未来ヘテイクオフ  
**株式会社 藤永組**  
代表取締役社長 藤永 和広  
熊本県八代市萩原町1丁目11番6号  
☎0965-33-3167  
https://kfujinaga.co.jp

**株式会社 福岡建設**  
代表取締役社長 福岡 功晃  
熊本県八代市大村町348  
☎0965-32-2512  
https://fukuoka-g.co.jp

J A全農グループ  
**J A全農くみあい飼料株式会社**  
北九州事業本部 熊本工場  
〒866-0034 熊本県八代市新港町1丁目11番地  
☎0965-37-1166

**和久田建設株式会社**  
代表取締役社長 和久田 数臣  
■ 熊本本社 ■ 熊本中央区九品寺2丁目8番19号 〒862-0976  
☎096-366-8111 FAX.096-366-8116  
■ 八代本部 ■ 熊本県八代市御町2丁目9番10番地 〒866-0055  
☎0965-32-5171 FAX.0965-33-5556  
■ 福岡支社 ■ 福岡市博多区上牟田1丁目28番16号 〒812-0006  
☎092-475-1575 FAX.092-475-1593

**KUMAMOTO DOCK CO.,LTD.**  
50th Anniversary  
**熊本ドック株式会社**  
代表取締役社長 加藤 勝  
〒866-0033 熊本県八代市港町273番地  
☎0965-37-2151  
http://www.kumamoto-dock.com/

SINOKOR, HEUNG A LINE (韓国航路)、愛媛オーシャンライン (台湾航路) 船舶代理店

**松木運輸株式会社**  
代表取締役社長 坂川 新助  
代表取締役副社長 松木 一史  
専務取締役 原田 陽二  
本 社：熊本県八代市毘舎丸町1番3号  
☎0965-33-3145  
港営業所：熊本県八代市新港町4番5号5  
☎0965-37-1101